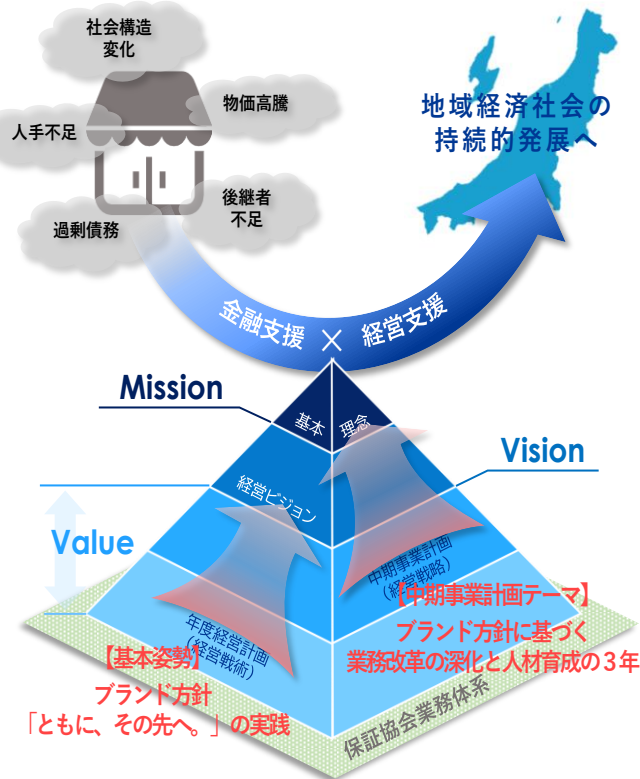


## 現状認識と業務運営方針

中小企業者を取り巻く環境は、長引く物価の高騰や深刻な人手不足、感染症後の社会構造の大きな変化に加え、それらの影響で増大した金融債務等、依然として厳しい状況にある。そのため、これまで以上に金融面と事業面の両面における一体的支援の必要性が増している。

2024(令和6)年度は、ブランド方針の下で当協会が主体的な役割を担い、金融機関等との一層の連携強化を図りながら、金融支援と経営支援を一体的に取り組み方針である。



	中期事業計画 2024(令和6)～2026(令和8)年度	2024(令和6)年度経営計画	
1	金融支援と経営支援の効果的な組合せによる一体的支援の推進	金融支援側面	<ul style="list-style-type: none"> <li>中小企業者の多様な資金ニーズに応じた資金繰り支援の推進</li> <li>顧客の利便性の向上</li> <li>企業診断能力、保証審査能力の向上</li> </ul>
		経営支援側面	<ul style="list-style-type: none"> <li>顧客の経営課題に即応した協会主体型による経営支援・事業再生支援の取組強化</li> <li>経営支援の実効性の向上に向けた取組</li> <li>経営支援能力、事業再生支援能力の向上</li> </ul>
2	効率化の徹底と求償権顧客の事業再生等につながる管理回収業務の展開		<ul style="list-style-type: none"> <li>管理回収業務の効率化</li> <li>適切な現況把握に基づく求償権顧客へのきめ細やかな対応</li> <li>管理回収業務に係る知識・能力の向上</li> </ul>
3	持続可能な業務運営態勢の確立に向けた対応		<ul style="list-style-type: none"> <li>ガバナンスの強化</li> <li>ブランド定着化への取組</li> <li>職場内コミュニケーションの活性化</li> <li>業務効率化への取組</li> </ul>